
ささやかな願い

蒼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ささやかな願い

【コード】

N1051B

【作者名】

蒼

【あらすじ】

毎日繰り返される日常・関係が壊れないように。

(前書き)

またまた短編です。読んでいただければ光栄です。差し支えなければ感想・文句等お願いします。

『ふぁーあ
』

私は大きな欠伸を一つ自分の中からはきだした。

そして体をいっばいに広げて伸びをした。

やっぱり外は気持ち良い。

風は少し冷たいけどそれはそれで悪くない。

もう春から半年近くたつたんだ。

早いものだ。

もう秋になってしまった。

何故だか最近一日一日が短く感じられる。

『ふぁーあ
』

私はまた欠伸をひとつ。

(こんなに空が青くて風が気持ち良いのに教室に閉じこもっているのはもったいない。)

私がこのコンクリートの床に寝っころがっている理由。

空は青いし風は気持ち良いし授業は暇だし眠いし。

まあ正確に言うとなサボリ。
場所はありきたりだけど屋上。

だってここが一番好きだし、空に近いから。

(あー眠い)

やっぱりここが一番落ち着く。

私はうつうつとしていた。

キィ

屋上の扉があく音。

やっぱり来た。

やつだ。

『あー 今日も来てたんだ。』

上から降ってきた聞き慣れた声。

『そっちこそ。ここに毎日来てるでしょ。飽きないの?』

『それはお前も同じだろ?』

やつはそう言ってクスクス笑った。

この会話ももう毎日のように繰り返している。

そういえばやつ・相沢峻に会ったのも半年前、場所はこの屋上だった。

先にここでサボっていたのは峻だった。

私はサボり場所を探して校内を練り歩いていたらたまたまここに行き着いた。

それで峻と出会ったんだ。

私と峻は趣味や好きなものが似ていた。

話もあつ。

それで何故だか好きになった。

本当に何でもない。

きっかけもない。

ただ好きになつてた。

それだけ。

『　　おい。大丈夫か？』

私は峻の声にはっとした。ぼーっとしていたようだ。

『えっ！あつ何？』

私は慌てて聞き返した。

『ちゃんと聞いてるよ。』

峻はまたクスクス笑った。

『もー！私だつて考え事位するよ！』

少し怒ったように言ってる。

すると私の頭に手を置いてわしゃわしゃと撫でた。

『お前に考え事なんて似合わねーよ。』

『そんなことないよ。』

『ある。』

『ない！』

プツ

二人して吹き出した。

私達は大切なことを溜め込んで下らないことばかりはきだして。

そうやってこれからも生きていく。

どうかこの関係がいつまでも変わりませんように。

そう願いながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1051b/>

ささやかな願い

2011年1月16日09時47分発行